令和4年度児童発達支援・放課後等デイサービス　事業所自己評価及びアンケート結果対比表

	事業所評価	チェック項目	利用者評価
環境面	はい（100%）	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	はい（100%）
	はい（50%） どちらとも（50%）	②職員の配置数や専門性は適切か	はい（100%）
	はい（100%）	③事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい（100%）
適切な支援の提供	はい（75%） 25%	④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか	はい（100%）
	はい（100%）	⑤活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	はい（100%）
連携	25% どちらとも（75%）	⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	はい（40%） 20% いいえ（40%）
説明責任	はい（50%） どちらとも（50%）	⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	はい（100%）
	はい（75%） 25%	⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	はい（100%）
	はい（75%） 25%	⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	はい（80%） 20%
	はい（75%） 25%	⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	はい（60%） どちらとも（40%）
	はい（100%）	⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい（100%）
	はい（100%）	⑫子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	はい（100%）
	はい（75%） 25%	⑬定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信しているか	はい（100%）
	はい（100%）	⑭個人情報に十分注意しているか	はい（100%）
非常時の対応	はい（100%）	⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	はい（60%） どちらとも（40%）
	はい（75%） 25%	⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	はい（100%）
その他		⑰子どもは通所を楽しみにしているか	はい（100%）
		⑱事業所の支援に満足しているか	はい（100%）

※無回答はどちらともいえないで集計

ご意見
・いつも楽しかった様で笑顔で帰ってきてくれます。ありがとうございます。

▶上記アンケートに対しての意見（保護者）

・特になし

▶上記アンケートに対しての意見（スタッフ）
⑥に対しての意見…コロナのため、散歩で会う程度

自己評価とアンケートについて

共通点
支援の提供、共通理解については概ねポジティブな意見で一致していた。また、地域との交流についてはネガティブな意見で一致していた。

相違点
職員の配置数、非常時の対応については相違が大きかった。

事業所の強みと改善点

利用者に対する個別の支援の提供や、保護者間、スタッフ間の共通理解はおおむね個人に合わせた支援が出来ていると思われます。

・今年度もコロナの影響もあった中で小規模だが保護者会活動を実施したことがアンケートに反映されていたと思われます。また、交流の機会についてはコロナの状況をみて検討していきます。
・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明については、方法や手段を考える必要性があります。
・職員の配置については、利用に合わせて配置を適切にしていきたいと考えます。

改善に向けた取り組み

今年度はコロナ感染症の対策しながら小規模だが保護者会活動にて保護者同士の連携支援の機会を作ることが出来たと思います。今後の取り組みとしましてはコロナの感染状況を鑑みて、地域との関わりや外部との交流が少しづつできるよう取り組んで行きます。非常時の対応としては、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルなどの周知や手段を検討し毎年、共通に認識できるよう検討していきます。支援については、引き続き子供たちの経験の幅の広がりに繋がるよう、多職種による関わりにて必要な支援の提供が安全に行えるよう整備を図っていきます。